

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

内海造船株式会社 瀬戸田工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市瀬戸田町沢226の6

(3) 業種

船舶製造・修理業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、2019年度を基準年度とし、2022年度から2026年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 環境理念

内海造船株式会社の本社及び瀬戸田工場は、ISO14001:2004での要求事項を満足し、「内海造船環境保全推進計画」に則り、地球環境の保全と省エネ・省資源が人類共通の最重要課題の1つである事を認識するとともに、環境負荷低減と省エネ・省資源への取組が事業継続及び発展に必須であると言う信念を持ち、企業活動のあらゆる面で配慮して行動する。

2 環境方針(重点テーマ)

1. 電力・ガス(酸素・LPG等)・油(灯油・軽油・重油)・水などの削減によるエネルギー使用合理化の推進
2. 廃木材・廃プラスチック類・プラスト廃砂等の廃棄物排出量の削減、リサイクルの推進による省資源、分別回収及び適正処理の推進
3. 大気・水質・土壌・騒音・環境汚染物質等の公害防止対策の推進
(特に油流失による海面汚染の防止)

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和1（2019）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	6,113	5,019

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**操業度(千時間)**

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和1 (2019) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和8 (2026) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	6,113	1,266	4.83	3.7	5,810	1,250	4.65
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k 1)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は原単位ベース年1.0%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の原単位 5%削減	老朽化機器を省エネ機器へ更新 塗装工場の効率的運用 空気圧縮機の効率的運用
2	燃料使用量の削減	燃料の原単位 5%削減	自動車の効率的運用 各種ガスの作業時における効率的運用
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

(2) 実施状況の点検・評価

環境管理責任者を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境保全推進委員会において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

当社各部への備付けによる閲覧